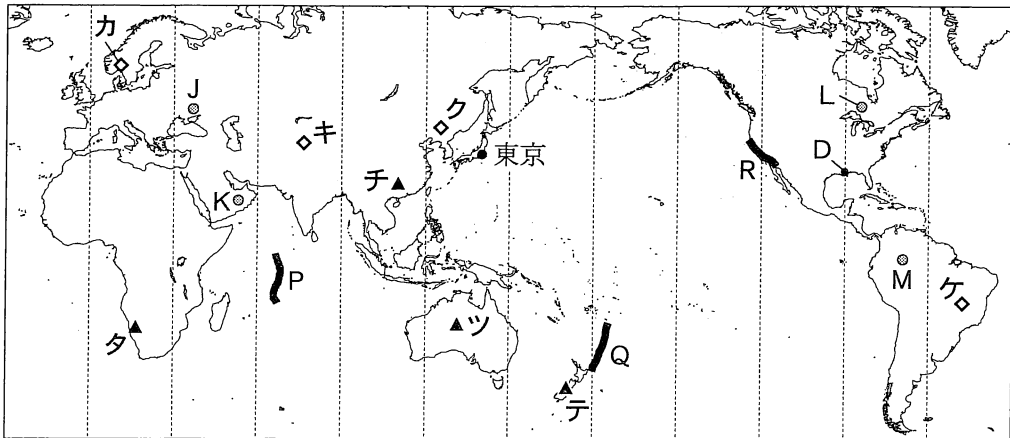


地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 地理の基礎的事項および日本の自然環境と防災に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 23)

A 次の図1を見て、地理の基礎的事項に関する下の問い(問1～5)に答えよ。



経線は30度間隔。

USGSの資料などにより作成。

図 1

問1 図1中の地点Dについて述べた次の文章中の空欄アとイに当てはまる語句の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

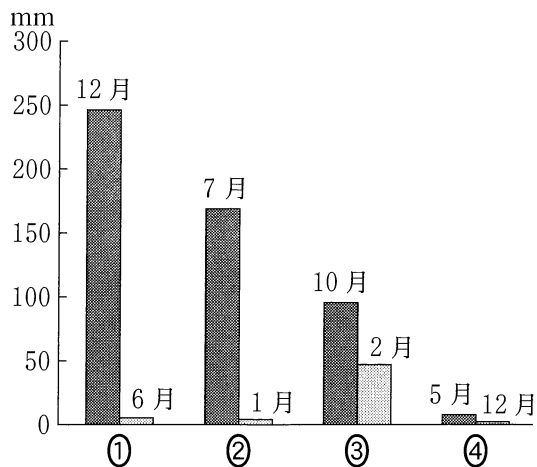
東京からみると地点Dは、ほぼ(ア)の方位にあたる。地点Dとグリニッジ標準時(GMT)との時差は6時間であり、東京で2020年1月1日午前0時のとき、地点Dの時刻は2019年12月31日の(イ)である。

	①	②	③	④
ア	東	東	北 東	北 東
イ	午前 9 時	正 午	午前 9 時	正 午

問 2 世界各地には、気候などがかわって多様な土壌がみられる。次の①～④の文は、図 1 中の J～M のいずれかの地点における特徴的な土壌について述べたものである。J に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 栄養分の乏しい灰白色の土壌がみられる。
- ② 栄養分の乏しい赤色の土壌がみられる。
- ③ 農業に適さない主に岩石や砂からなる土壌がみられる。
- ④ 肥沃な黒色の土壌がみられる。

問 3 次の図 2 は、図 1 中のカ～ケのいずれかの地点における最多雨月と最少雨月の月降水量を示したものである。ケに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 3



『理科年表』により作成。

図 2

地理 A

問 4 図 1 中の P～R は、主なプレート境界の一部を示したものであり、次のサ～スの文は、P～R のいずれかにみられる特徴的な地形について述べたものである。P～R とサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

4

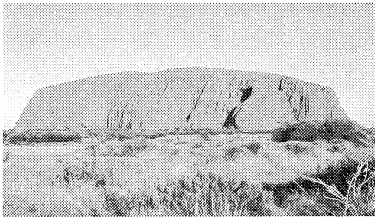
サ ずれるプレート境界であり、断層によって水平方向に動いた地形がみられる。

シ せばまるプレート境界であり、細長く深い^{おうち}凹地が形成されている。

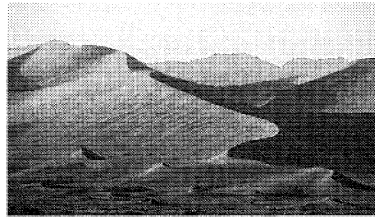
ス 広がるプレート境界であり、長大な山脈が連なっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

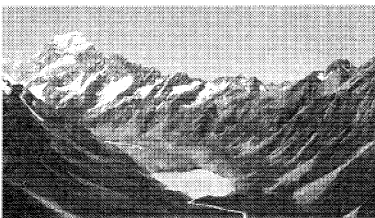
問 5 次の写真 1 は、図 1 中のタ～テのいずれかの地点の景観を撮影したものである。チに該当するものを、写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 5



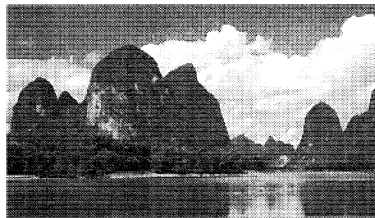
①



②



③



④

写真 1

B 日本の自然環境と防災に関する次の問い(問 6 ~ 8)に答えよ。

問 6 適切な避難は、災害における被害の軽減につながる。自然災害に対する備えについて述べた次の文マとミの正誤の組合せとして正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。

6

マ 火山の噴火に際して、安全かつ迅速な避難行動がとれるように、事前に火山ハザードマップを参考に、複数の避難経路を確認しておくことが望まれる。

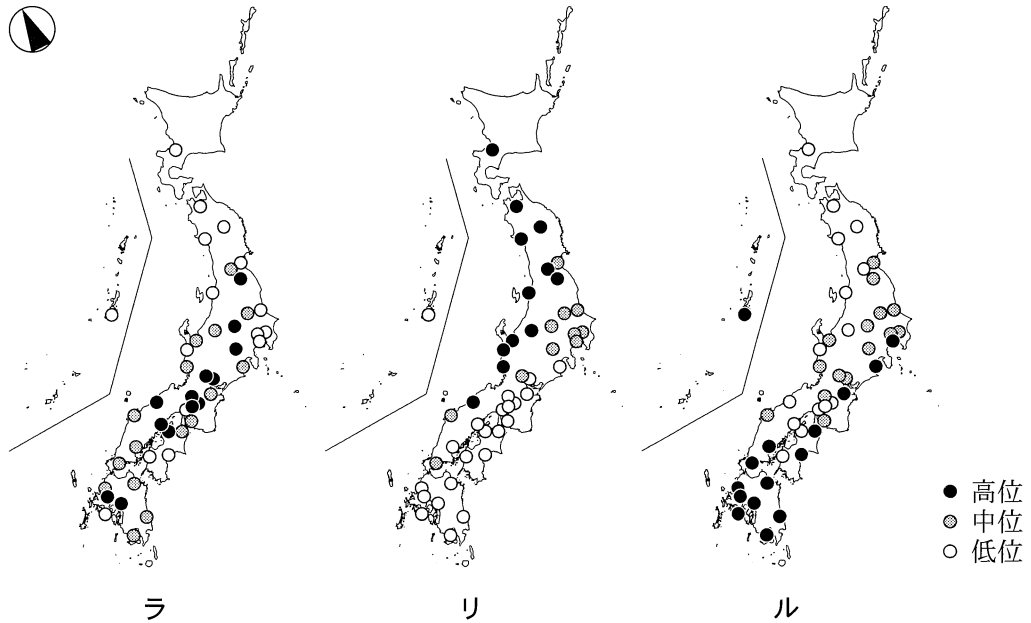
ミ 災害が発生した際に、住民どうしの救助・救援を速やかに行えるように、普段から近隣の人たちとかかわりを持ち、地域の協力関係を強めることが望まれる。

	①	②	③	④
マ	正	正	誤	誤
ミ	正	誤	正	誤

地理 A

問 7 次の図 3 中のラ～ルは、日本の都道府県庁所在都市における積雪日、多降水日、猛暑日のいずれかの日数*を示したものである。指標名とラ～ルとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

*積雪日は日最深積雪 20 cm 以上、多降水日は日降水量 100 mm 以上、猛暑日は日最高気温 35 °C 以上を記録した日数の平年値。



いずれかの指標について値が得られない都市は、すべての図から省略した。
気象庁の資料により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
積雪日	ラ	ラ	リ	リ	ル	ル
多降水日	リ	ル	ラ	ル	ラ	リ
猛暑日	ル	リ	ル	ラ	リ	ラ

問 8 次の図 4 は、ある地域について、1927 年に発行された 2 万 5 千分の 1 地形図の一部(原寸、一部改変)と、現在の地形と土地利用の様子を模式的に示したもの*であり、下の①～④の文は、図 4 中の W～Z のいずれかの地点における地形や土地利用の変化と、将来に起こりうる自然災害について述べたものである。Y に該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

*基盤地図情報などにより作成。

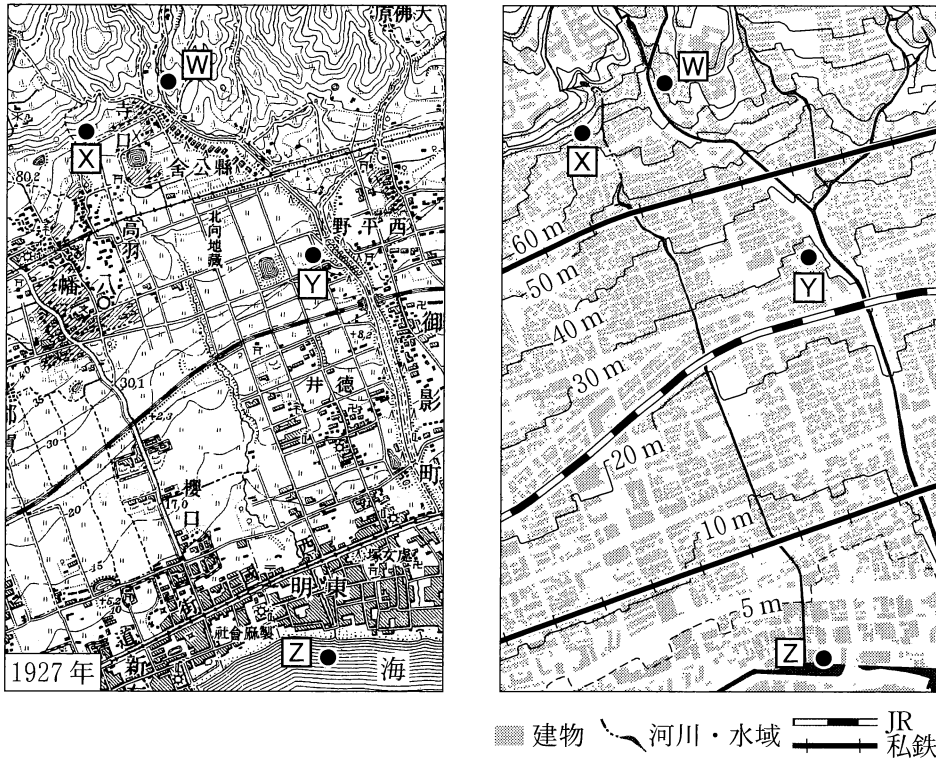


図 4

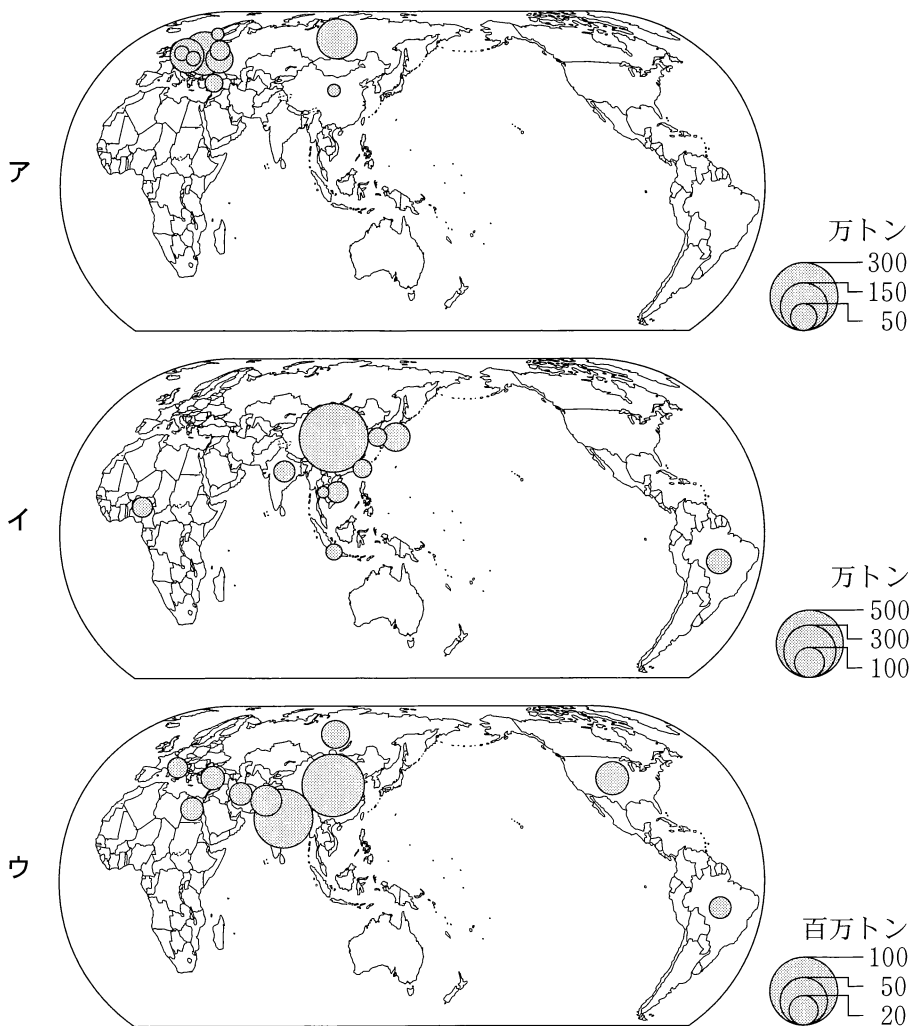
- ① 急傾斜地を造成した住宅地で、大雨や地震の際には崖崩れが起きやすい。
- ② 周囲よりも高い所を流れる天井川てんじょうに近い住宅地で、大雨の際には浸水の被害を受けやすい。
- ③ 大規模に造成された土地で、地震の際には液状化が起きやすい。
- ④ 谷口に近い土地で、大雨の際には土石流の被害を受けやすい。

地理 A

第 2 問 世界の生活・文化に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図 1 は、いくつかの作物の年間食料供給量について、上位 10 か国・地域の分布を示したものであり、ア～ウは、小麦、大豆、ライ麦のいずれかである。作物名とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

9



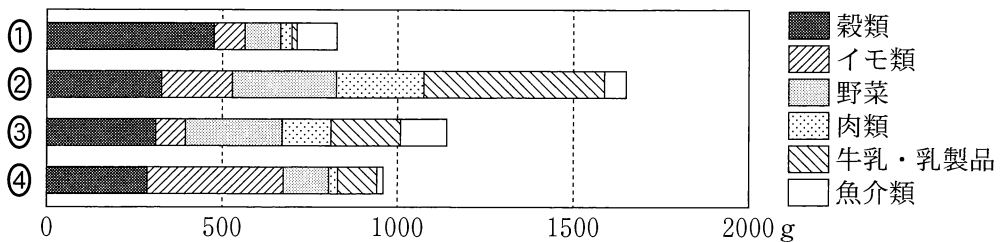
中国の数値には台湾，ホンコン，マカオを含まない。
統計年次は 2013 年。
FAOSTAT により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
小麦	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
大豆	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ライ麦	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の図 2 は、いくつかの国における 1 人 1 日当たり食料供給量を品目別に示したものであり、①～④は、カナダ、カンボジア、タンザニア、日本のいずれかである。タンザニアに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

10



統計年次は 2013 年。
FAOSTAT により作成。

図 2

問 3 世界のいくつかの国や地域における民族や宗教とそれに関連することからについて説明した文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① イギリスを構成する地域の一つであるスコットランドは、2014 年に独立の賛否を問う住民投票を実施した。
- ② スカンディナヴィア半島北部に暮らしているサーミの人々は、伝統的にトナカイの遊牧を行ってきた。
- ③ 西アジアの複数の国に暮らしているクルド人は、多くがキリスト教を信仰している。
- ④ ラグビーのニュージーランド代表チームが試合前に踊るハカは、先住民の民族舞踊を起源とする。

地理 A

問 4 次の表 1 は、スイス、スリランカ、ベルギーで使用される言語について、言語別人口*の多い順に示したものであり、カ～クは、英語、オランダ語、フランス語のいずれかである。言語名とカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

*第一言語としてその言語を話す人口。

表 1

順位	スイス	スリランカ	ベルギー
1 位	ドイツ語	シンハラ語	カ
2 位	キ	タミル語	キ
3 位	イタリア語	ク	ドイツ語

SIL International, *Ethnologue Twenty-First Edition* により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
英語	カ	カ	キ	キ	ク	ク
オランダ語	キ	ク	カ	ク	カ	キ
フランス語	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 5 国内で最も多くの人々の信仰する宗教が、隣国で異なる組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- | | |
|-------------|---------------|
| ① アルゼンチンとチリ | ② インドとバングラデシュ |
| ③ エジプトとリビア | ④ タイとラオス |

地理 A

問 6 姉妹(友好)都市の提携は、文化交流の手段の一つであり、世界各国の都市の間で相互に提携が結ばれている。日本の都市と姉妹(友好)都市提携を結んでいる都市の特徴について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 京都市と提携を結ぶ中国のシーアン(西安)は、歴史的な建造物が数多くみられる古都である。
- ② ^{しものせき}下関市(山口県)と提携を結ぶトルコのイスタンブールは、三角州(デルタ)地帯に発展してきた海上・陸上交通の^{ようしやう}要衝である。
- ③ ^{とよた}豊田市(愛知県)と提携を結ぶアメリカ合衆国のデトロイトは、航空機産業を主要産業として発展してきた歴史をもつ。
- ④ ^{まつもと}松本市(長野県)と提携を結ぶネパールのカトマンズは、山岳地域の水源を利用した半導体生産の拠点である。

問 7 世界遺産には、植民地であった歴史の影響を受けた建造物などが構成要素となり、登録されたものがある。それらについて説明した次の文章中の空欄サとシに当てはまる語句の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

15

「インドの山岳鉄道群」を構成するダージリン・ヒマラヤ鉄道は、この地域で生産される(サ)を旧宗主国に向けて輸送することなどを目的として敷設された。また、中国の「マカオ歴史地区」には、(シ)の宗教施設をはじめ、旧宗主国の面影が残されている。

	①	②	③	④
サ	コーヒー	コーヒー	茶	茶
シ	キリスト教	ヒンドゥー教	キリスト教	ヒンドゥー教

地理 A

第 3 問 次の図 1 を見て、ヨーロッパに関する下の問い(問 1 ~ 7)に答えよ。

(配点 21)

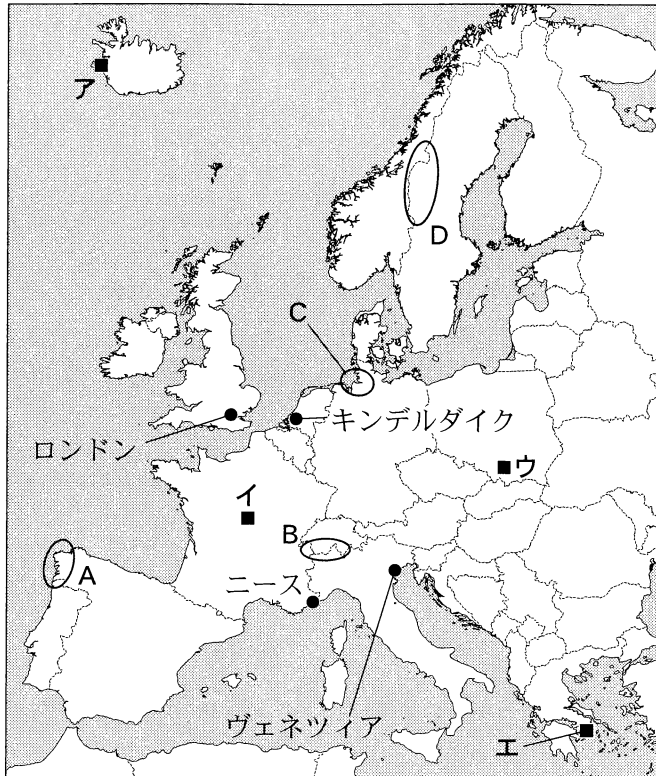


図 1

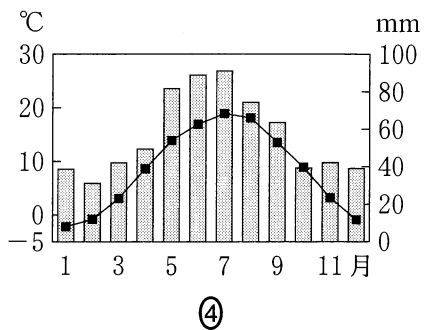
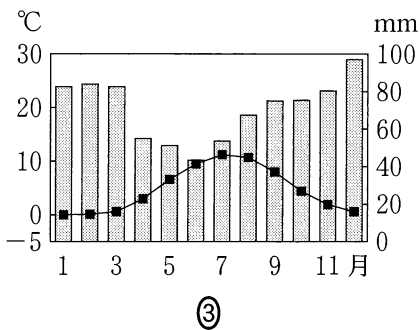
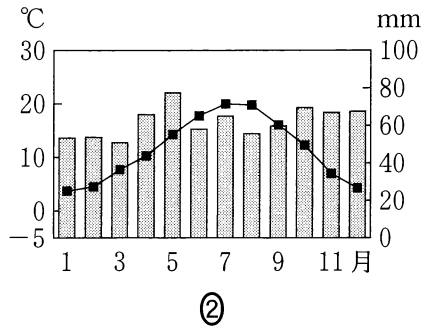
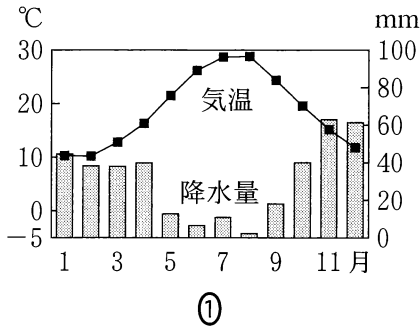
問 1 図 1 中の A ~ D のいずれかの範囲にみられる特徴的な地形について説明した

文として適当でないものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 16

- ① A では、山地や丘陵が沈水して形成されたリアス海岸がみられる。
- ② B では、山岳氷河の侵食により形成された U 字谷(氷食谷)がみられる。
- ③ C では、大きな河川の河口部が沈水して形成された三角江(エスチュアリー)がみられる。
- ④ D では、プレート境界に位置し地殻変動が活発なため、火山が多くみられる。

問 2 次の図 2 は、図 1 中のア～エのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。イに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

17



気象庁の資料により作成。

図 2

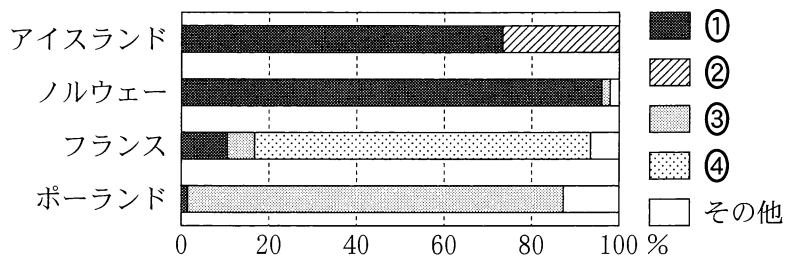
問 3 ヨーロッパでみられる食文化やその背景にある農業生産について述べた文として下線部が**適当でない**ものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① イギリスでは、ジャガイモの生産が盛んであり、肉や魚に添えて日常的に食されている。
- ② イタリアでは、パスタの原料として主に小麦が使われている。
- ③ スイスでは、夏季に低地へと移動し家畜を放牧する移牧が営まれ、様々なチーズが伝統的な食材の一つとなっている。
- ④ ドイツでは、豚肉生産の主要国の一つであることを背景として、ハムやソーセージが日常的な食材となっている。

地理 A

問 4 次の図 3 は、アイスランド、ノルウェー、フランス、ポーランドにおけるエネルギー源別の発電量の割合を示したものであり、①～④は、火力、原子力、水力、地熱のいずれかである。水力に該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 19

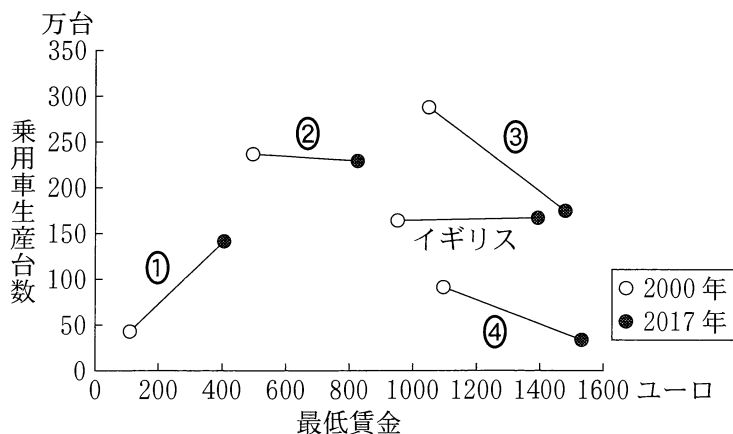


統計年次は 2015 年。

IEA の資料により作成。

図 3

問 5 次の図 4 は、ヨーロッパのいくつかの国について、2000 年と 2017 年の最低賃金と乗用車生産台数を示したものであり、①～④は、スペイン、チェコ、フランス、ベルギーのいずれかである。フランスに該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。 20



最低賃金はユーロに換算した月額。

International Organization of Motor Vehicle Manufacturers の資料などにより作成。

図 4

地理 A

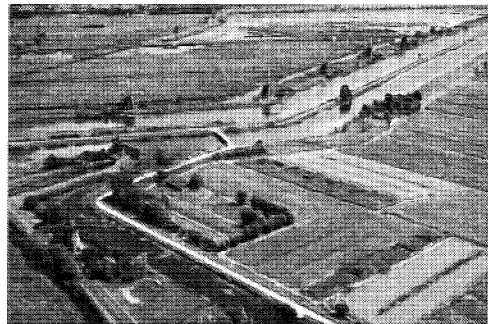
問 6 ヨーロッパでは、国や地域によって多様な宗教・宗派がみられる。2010年時点でカトリックを信仰する住民の人口が総人口の過半数を占める国として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① イギリス ② イタリア ③ スウェーデン ④ ブルガリア

問 7 次の写真1は、図1中のいくつかの地域にみられる特徴的な水辺の景観を撮影したものであり、①～④は、ヴェネツィア(ベネチア)、キンデルダイク、ニース、ロンドンのいずれかである。ロンドンに該当するものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。 22



① 河川沿いの再開発された金融街



② 干拓で生み出された農地



③ せきこ 潟湖(ラグーン)上に成立した都市



④ リゾート地として知られるビーチ

写真 1

地理 A

第 4 問 世界の結びつきと地球的課題に関する次の問い(問 1 ~ 6)に答えよ。

(配点 18)

問 1 航空交通の発達により、国境を越える人々の移動が増え、世界の諸都市は結びつきを強めるようになった。次の表 1 は、いくつかの都市およびその近隣にある主な空港について、国際線の就航都市数と国内線の就航都市数を示したものであり、①~④は、アトランタ(アメリカ合衆国)、ソウル*、東京**、パリ***のいずれかである。ソウルに該当するものを、表 1 中の①~④のうちから一つ選べ。 23

*インチョン(仁川)空港とキムポ(金浦)空港との合計。

**成田空港と羽田空港との合計。

***シャルル・ド・ゴール空港とオルリー空港とボーヴェ空港との合計。

表 1

	国際線の就航都市数	国内線の就航都市数
①	260	37
②	144	8
③	109	48
④	75	155

国際線・国内線ともに就航都市数は直行便のみ。

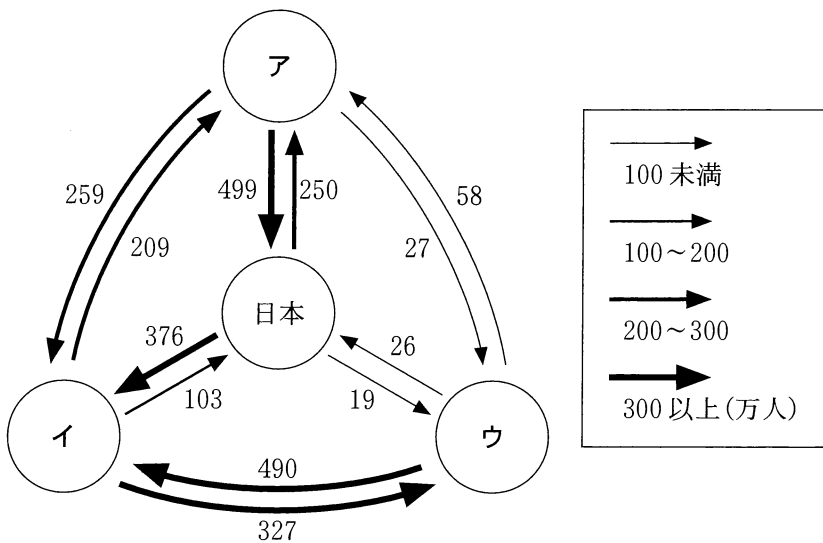
統計年次は 2017 年。

OAG *Flight Guide Worldwide* により作成。

問 2 交通手段の発達には、地球上の時間距離を短縮し、人のグローバルな移動を活性化している。次の図 1 は、アメリカ合衆国、イギリス、中国*、日本の 4 か国間の訪問客数**を示したものであり、ア～ウは、日本以外の 3 か国のいずれかである。国名とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 24

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

**観光客、商用客などの総計。



統計年次は 2015 年。
UNWTO の資料により作成。

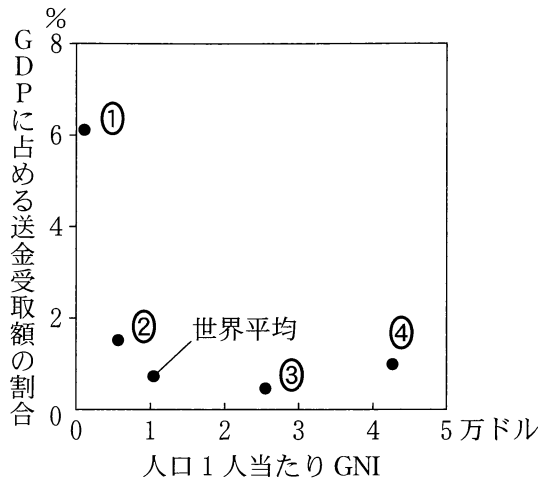
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
イギリス	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
中国	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理 A

問 3 次の図 2 は、いくつかの国における人口 1 人当たり GNI(国民総所得)と GDP(国内総生産)に占める送金受取額*の割合を示したものであり、①～④は、韓国、タイ、バングラデシュ、フランスのいずれかである。バングラデシュに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 25

*海外にいる就労者から自国の個人あてに送金された額。

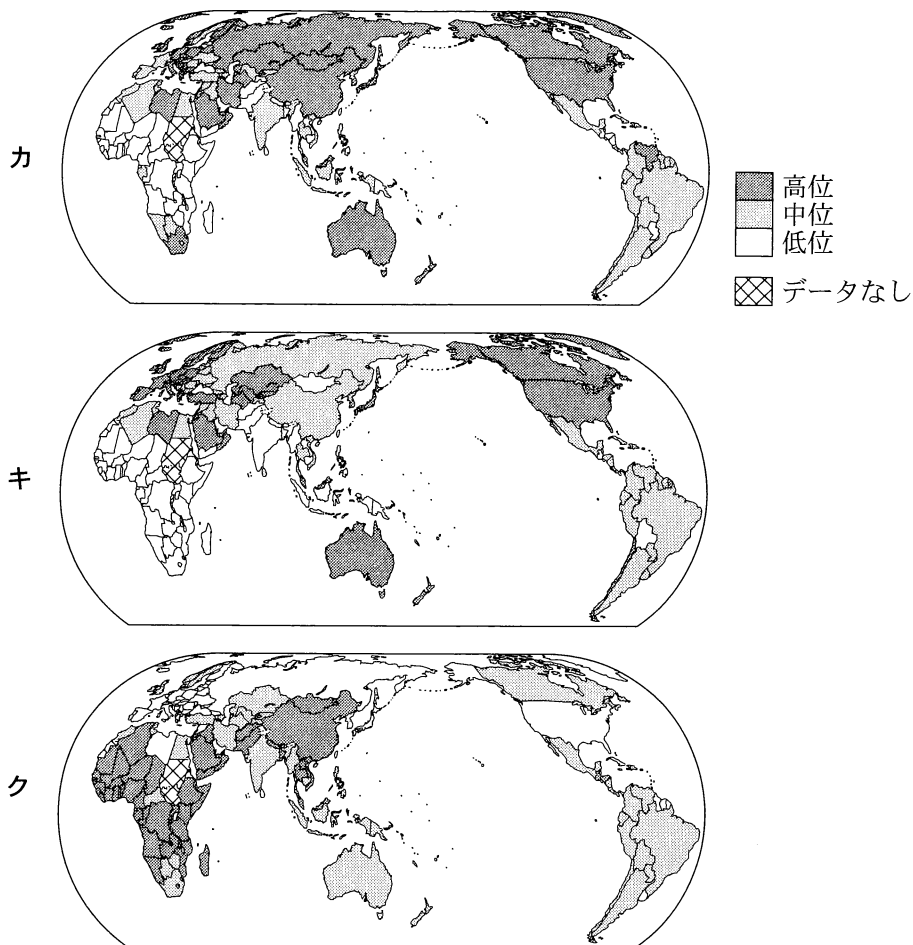


統計年次は 2016 年。

World Development Indicators により作成。

図 2

問 4 次のページの図 3 中のカ～クは、1 人当たり二酸化炭素排出量、衛生的なトイレや下水の施設を使用している人口の割合、都市人口の増加率のいずれかを、国・地域別に示したものである。指標名とカ～クとの正しい組合せを、次のページの①～⑥のうちから一つ選べ。 26



いずれかの指標についてデータが得られない場合は、すべての図について「データなし」と示した。

中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

統計年次は、1人当たり二酸化炭素排出量が2014年、衛生的なトイレや下水の施設を使用している人口の割合が2015年、都市人口の増加率が2010～2015年。

World Development Indicators により作成。

図 3

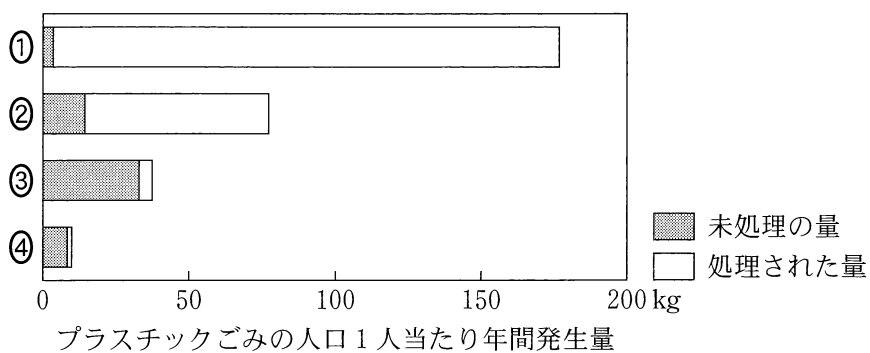
	①	②	③	④	⑤	⑥
1人当たり二酸化炭素排出量	カ	カ	キ	キ	ク	ク
衛生的なトイレや下水の施設 を使用している人口の割合	キ	ク	カ	ク	カ	キ
都市人口の増加率	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理 A

問 5 近年の地球的課題の一つに、処理が適切にされずに環境を汚染するプラスチックごみの問題がある。次の図 4 は、いくつかの国におけるプラスチックごみの人口 1 人当たり年間発生量について、未処理*の量と処理された量を示したものであり、①～④は、ケニア、ドイツ、トルコ、ベトナムのいずれかである。ベトナムに該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。

27

*処理が不十分なまま、適切に管理されていない場所に捨てられたもの。



統計年次は 2010 年。
世界銀行の資料などにより作成。

図 4

問 6 世界の環境問題への取組みについて述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① オゾン層の破壊の影響による皮膚癌^{がん}を予防する対策として、南半球のいくつかの国では、紫外線から身を守るための教育プログラムが普及している。
- ② 酸性雨への対策として、欧米の国々を中心に、工場や自動車からの大気汚染物質の排出が規制されている。
- ③ 生物の多様性を保全する対策として、発展途上国では、緑の革命がすすめられてきた。
- ④ 地球温暖化の対策の一つとして、ヨーロッパのいくつかの国では、二酸化炭素の排出を抑制するための課税制度が導入されている。

地理 A

第5問 東京の高校に通うスミさんは、教科書で見た山梨県の扇状地に興味を持ち、甲府盆地とその周辺地域の調査を行った。次の図1を見て、この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

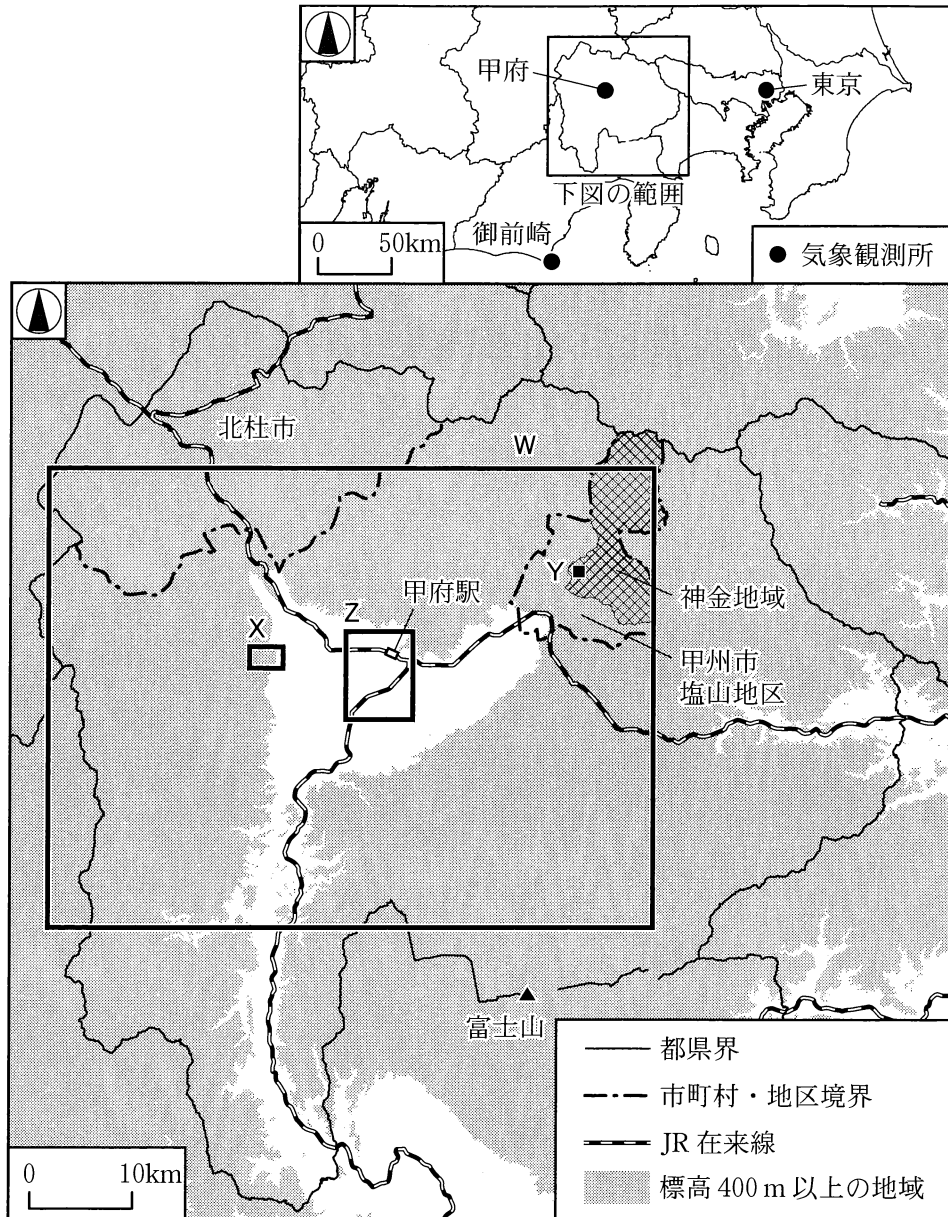


図 1

問 1 事前調査として、スミさんはいくつかの指標から甲府の気候を他地域と比較した。次の表 1 は、図 1 中に示した甲府を含む 3 地点の気象観測所における、夏季の気温の日較差*と、冬季の総降水量**を示したものであり、ア～ウは、^{おまえざき}御前崎、甲府、東京のいずれかである。気象観測所とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

* 6 月， 7 月， 8 月の平均値。

** 1 月， 2 月， 12 月の合計値。

表 1

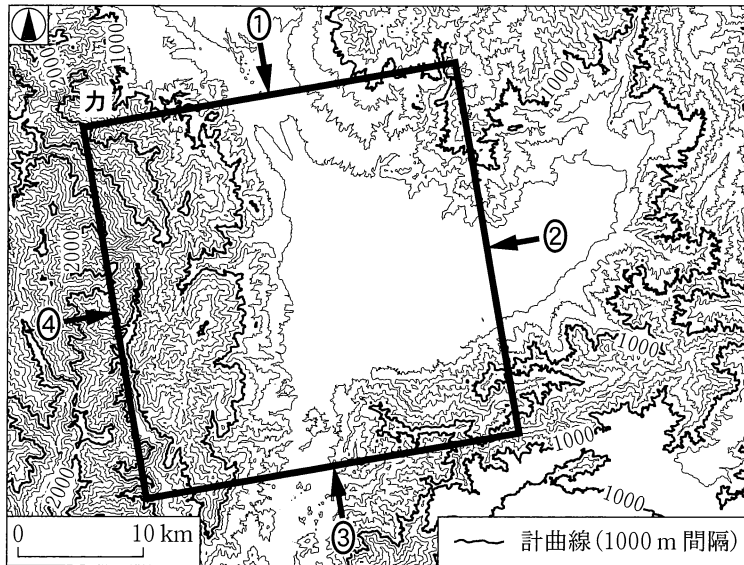
	夏季の気温の日較差(°C)	冬季の総降水量(mm)
ア	9.4	118.4
イ	6.5	159.4
ウ	5.1	248.7

気象庁の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
御前崎	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
甲 府	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
東 京	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

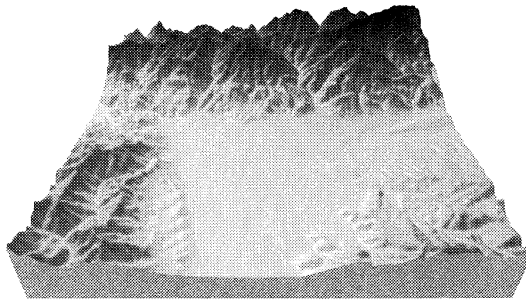
地理 A

問 2 スミさんは、甲府盆地の地形的特徴を知るために、数値標高データを使って
鳥瞰図を作成した。次の図 2 は、図 1 中の W の範囲における甲府盆地とその
周辺の地形を 200 m 間隔の等高線で表現したものであり、下の図 3 は、図 2
中の力の範囲について、図 2 中に示す①～④のいずれかの方向から見下ろした
鳥瞰図である。図 3 のように見える方向に該当するものを、図 2 中の①～④の
うちから一つ選べ。 30



基盤地図情報により作成。

図 2



標高が高いほど濃く、高さは強調して表現してある。

図 3

問 3 スミさんは、古くから氾濫の多い河川として知られる御勅使川^{みだいがわ}の扇状地を歩き、地域の土地利用について住民から話を聞いた。次の図4は、図1中のXの範囲における2008年発行の2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)に、1916年発行の2万5千分の1地形図に描かれた石積みの堤防の分布を重ねたものである。また、下の①～④の文は、図4中のA～Dのいずれかの地点における土地利用の特徴について、スミさんが作成したメモである。Dの特徴を説明した文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31



図 4

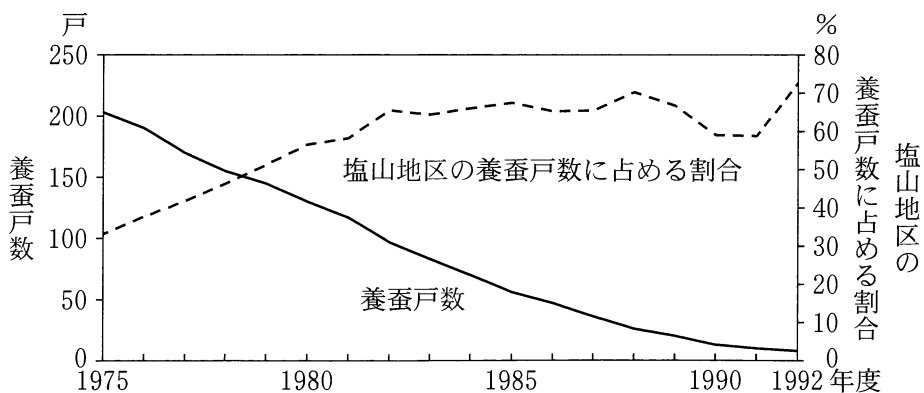
- ① 1916年ごろには御勅使川の河道に位置していたが、直線的な道路が整備されるなど開発が進み、住宅や農地がみられるようになった。
- ② かつては水を得にくい土地だったが、用水路である徳島堰^{とくしませぎ}から地形の高低差を利用して水を引くことにより、果樹栽培が広くみられるようになった。
- ③ 扇状地よりも高い位置にあり、住宅や農地は、かつてたびたび発生した御勅使川の氾濫の被害を免れてきた。
- ④ 古くからの集落であり、等高線に沿うように延びる主要道路に面して、公共施設がみられる。

地理 A

問 4 甲府盆地で養蚕業が盛んであったことを知ったスミさんは、かつて養蚕をしていた図 1 中の甲州市塩山地区の山間部にある神金地域を訪れ、住民に話を聞いた。次の写真 1 は、神金地域内に位置する図 1 中の地点 Y においてスミさんが家屋を撮影したものであり、下の図 5 は、神金地域における養蚕戸数と、それが塩山地区の養蚕戸数に占める割合の推移を示したものである。次ページのスミさんと住民との会話文中の空欄サとシに当てはまる語句の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 32



写真 1



『山梨県の蚕糸業』により作成。

図 5

地理 A

- ス ミ 「写真1のような、屋根の中央部を突き上げるように高くした家屋がこの周辺には多いですね。なぜこのような形をしているのですか」
- 住 民 「養蚕が始まった当初は、このような屋根ではなかったのですが、自宅内で養蚕を行うスペースを広げるために、屋根と屋根裏を改修しました。その際に、屋根の中央部は(サ)と採光を重視した構造となりました。このような伝統的家屋には、現在は文化財として保存されているものもあります」
- ス ミ 「養蚕業は主要な産業だったのですね。いつごろ養蚕業が盛んだったのですか」
- 住 民 「神金地域では、明治から昭和の中ごろにかけて養蚕業が盛んに行われていました。しかし、図5からもわかるように、1990年ごろまでに、養蚕戸数が大きく減少しました。神金地域と塩山地区内の他地域を比べると、神金地域は養蚕業が(シ)地域でした」
- ス ミ 「現在は、養蚕に必要な桑園そうえんはほとんど残っていないのですか」
- 住 民 「そうですね。ほとんどが果樹園にかわりました」
- ス ミ 「時代とともに地域の主要な産業が変化してきたのですね。ありがとうございました」

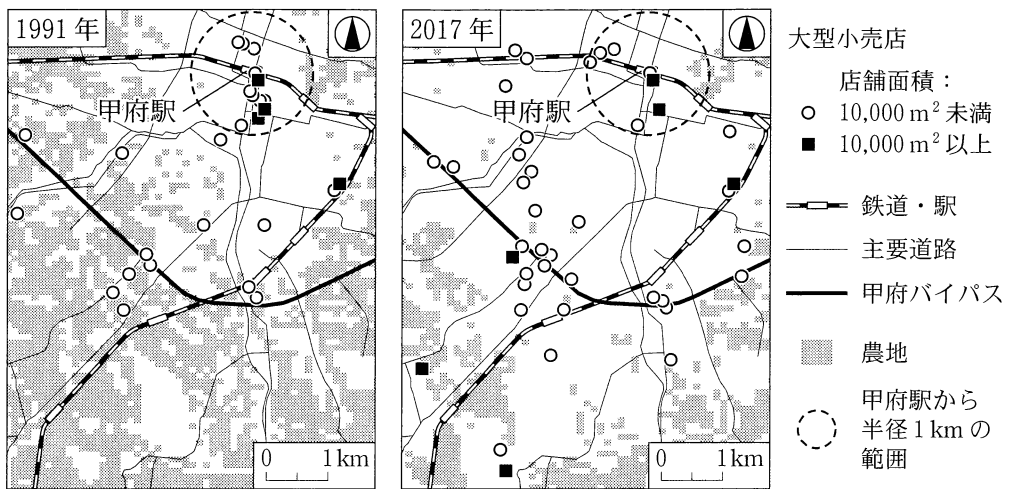
	①	②	③	④
サ	通気性	通気性	防音性	防音性
シ	遅くまで 行われていた	早くに縮小した	遅くまで 行われていた	早くに縮小した

地理 A

問 5 スミさんは、甲府駅南側の中心市街地に向かう途中に多くの大型小売店があることに気づき、甲府市とその周辺地域の商業の変化について調べた。次の図 6 は、図 1 中の Z の範囲における 1991 年と 2017 年の大型小売店*の分布を店舗面積別に示したものである。図 6 の範囲から読み取れることからを説明した文として下線部が最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

*店舗面積が 1,000 m² 以上の店舗。



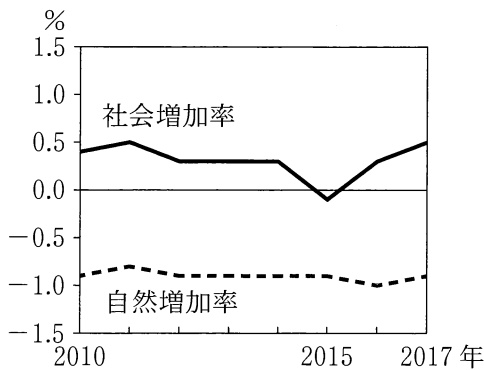
2017 年の図中の農地については、2016 年時点のデータを用いた。
国土数値情報などにより作成。

図 6

- ① 1991 年時点での店舗面積 10,000 m² 以上の大型小売店数は、甲府駅から半径 1 km の範囲内よりも範囲外の方が多い。
- ② 1991 年時点と 2017 年時点を比べると、2017 年の方が甲府駅から半径 1 km の範囲内において店舗面積 10,000 m² 未満の大型小売店数が多い。
- ③ 2017 年時点での甲府バイパスより南側にある店舗面積 10,000 m² 以上の大型小売店は、1991 年時点に農地であった場所に立地している。
- ④ 2017 年時点での甲府バイパスより南側にある店舗面積 10,000 m² 以上の大型小売店は、それぞれの最寄りの駅から 500 m 以内に立地している。

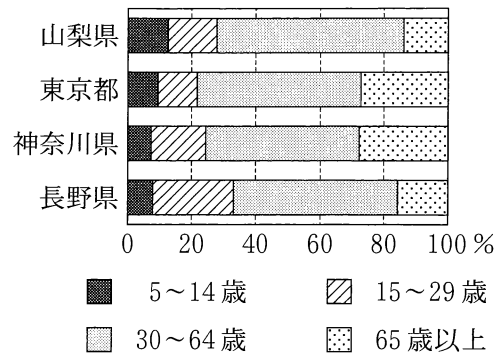
問 6 図 1 中の北杜市が、近年、積極的に移住促進の取組みをすすめていることを知ったスミさんは、移住の実態を調べてみた。次の図 7 は、北杜市における人口の自然増加率と社会増加率の推移を示したものであり、図 8 は、北杜市への転入者数が上位の 4 都県からの転入者の年齢別割合を示したものである。図 7 と図 8 から読み取れることがらについて説明した文として下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

*2015 年の北杜市の居住者のうち、2010 年に北杜市以外に居住していた者の数。



総務省の資料などにより作成。

図 7



統計年次は 2015 年。
国勢調査により作成。

図 8

- ① 自然増加率と社会増加率との関係からみて、2010 年から 2017 年にかけて 北杜市の総人口は増加している。
- ② 北杜市では、2015 年を除いて転入者の数が転出者の数を上回っている。
- ③ 東京都と神奈川県からは、2015 年時点における 転入者に占める高齢者の割合が他の 2 県に比べて高い。
- ④ 山梨県内からは、2015 年時点における 中学生以下の子どもと同居する世帯単位の転入の割合が他都県より高いことがうかがえる。